

9/15 (日) ビーチ×ト×ホーム

Banjumrung 村 3 日目。

9 時前にコミュニティセンターへ到着して朝食でした。

希呼がまさかの夜 3 時就寝 (センターに人がいなかったため、残って作業してた TU 学生と徒歩で帰るしかなかったらしい) ということで、ちょっと憚りつつも、おばちゃんたちにバイクで送っていただきました。エンブレマークが出ているバイクに二人乗り…後ろに乗ったのは初めてでしたが、朝の風が気持ちよかったです。

自然が多いせいか? 日本よりも涼しくて、あまり汗もかいていないような気がします。

相変わらず朝ごはんは豚血の豆腐入りスープでしたが、この味にもそろそろ慣れてきました。お腹の調子も良いです。

ただ、美味しいからと日本と同じ感覚で食べまくと、トイレとお友達 (笑) になってしまうので、いつもよりはちょっと少ないかな…くらいで止めておく必要があるなあと思いました。

今日は TU 学生たちが帰る日で、センターで会った時はモデル模型が完成していました。

明け方近くまで頑張って作っていた大作! 建物の造形はもちろん、お手伝いした木や、人、商品など、コミュニティセンターの細かいところまで再現されていて感動しました。何故ここまで作れるのか…ただただ謎です(^_^)

また、この時、ホームシックでお母さんに電話して涙ぐんでいた子がいたので (私からするとただの 2 泊 3 日旅行の感覚ですが) 日本から持ってきた和柄のシールを 1 枚あげました。

「可愛くて使えないよ!」と言いつつも、友達に自慢しに行くほど喜んでいて、ちょっとでも笑顔にできた&やっとなシールが役に立って良かったです。

その後はバスに乗り込んで、みんなで海へ! ビーチへ!!

前回は見るだけだったビーチに、ついに降り立ちました。波が荒いので、海水は砂で濁った色をしていましたが、サンダルを脱ぎ捨ててパチャパチャと走り込んでみれば、冷たい水が足に当たってとても気持ちよかったです。

遠くでは、バナナボートや船に乗って海を楽しむ人たちもいました。

みんなで写真撮影し合ったり、希呼と TU の男の子が勢いよく海にダイブしていくのに爆笑しながら、わいわいガヤガヤ楽しく過ごせました。

ちょっと面白かったのは、私が「砂浜に来たら (日本だと) これ書くだらう」と思って相合傘を書いたところ、女の子たちが一斉に反応したこと。日本の山 P が大好きという Ant が、自分と彼の名前を相合傘にして書いて、書き終わった瞬間に波に消されて叫んだり、お互いの名前 (ネタ含む?) を書き入れて、巨大な相合傘を作ったり…

このネタも万国共通なんだなあ…とこれも感動でした。

他にも、twitter で話題だった「波動拳」を、TU 学生たちが再現しようとして思わず動画で撮ってしまいました。

(波動拳とは→ <http://jin115.com/archives/51940840.html>)

昼食は近くのビーチでシーフード料理屋さんへ

久々に食べたチャーハンが最高でした…タイ米のチャーハンが案外イケると思い始めた今日この頃です。

そして村へ戻って、ついに TU のみんなとお別れでした(´ ; ω ; `)

次 (28 日) に戻る時は忙しくて会えないかもということで、みんなが手を振ってサヨナラと言ってくれました。「タイ語が分からなくて困ったときはいつでも電話してきてよ! Sleeping time 以外は!」と胸張って伝えてくれた Nutter、頼もしいです。

そうして誰もいなくなり…完全放置プレイな2週間がいよいよスタートです。

まずは一旦 home へ戻り、ちょっと休憩してから、3時頃から今後について話し合いをしました。

でもすぐにブンさんがやってきて「農地に行こう」と言ったので、ちょっと準備時間をもらって荷台付きバイクで移動しました（5人乗り！）

到着したのは集会所で、村の方々が集まって、何やらミーティングのようなことを行っていました。あれ、畑は…？

タイ語オンリーでさっぱり分かりませんでしたが、ブンさんや英語をちょっと話せる方に助けていただいて、カタコトのタイ語で自己紹介をしました。

おじさん、おばさんが多かったのですが、若い人や子供もいて、改めて Banjumrung 村が『栄えている』のだと感じました。（この表現が合っているか分かりませんが、高齢化が進む日本の農村と比べたら…と、単純に捉えて書きました）

ミーティングの後は、ちょっと早めの夕食ということで、用意されていたチャーハンと鶏ガラスープをいただきました。

昼にチャーハン食ったやん！とツッコミつつ、希呼のおかわり2杯に笑いながら、皆さんの「アロイ マイ？（美味しいですか）」に「アロイ（美味しい）」と答える私…

犬も数匹集まっていますが、住民たちから鶏ガラなどのオコボレをもらっていて、普段は追い払ったりと雑な扱いを受けている彼らもまた、この村で生きている存在なんだなあと思いました。が、やっぱり道路で待ち伏せ？している姿は怖いです…

ご飯の後は、ブンさんの家に送っていただきましたが

途中、センターでご飯を作っているおばちゃん・アートイさんのおうちに案内されました。

彼女もまた home stay を受け入れているらしく（No.6）、質素な身なりからは想像できないほど立派でキレイな家に住んでいました。テレビは大きいし、何より部屋が広い！

もし機会があったら、ここにも泊まってみたいものです。

ぐると回って home に着いた時、ちょうどブンさん一家が買い物に出かけるころだったらしく、「何か欲しいものはないか」と尋ねられたので、スーパーに同行させていただくことになりました。

かつ、向こうから洗濯について話を振っていただき、洗濯機の場所や使い方まで丁寧に教えてもらいました。これでやっと手洗いから解放されますヽ(;▽;)ノ

ついでに奥さんにお土産（手ぬぐい）を渡しました。パンケーちゃん？と一緒に是非とも使って欲しいところです。

町中のスーパー（まさかの映画館付き）でそれぞれタオルやらシャンプーやらを買った後は

帰宅して、アリが多いという理由から、前回泊まったもう一軒の家へお引越でした。物干し台も部屋に付いていて、洗濯の心配が一切無くなって本当によかったです。

荷物を移動させてからまたセンターに行って、日記書いたり雑談したりしました。

帰りは雨が降ってきたので、ブンさんのバイクに乗せてもらい、まさかの3人乗りで home まで…雨も嫌ですが、足をどこに置いていいか分からずサンダルが宙ぶらりん状態でした。

明日は自転車を貸していただけるということで、楽しみです。

Banjumrung の人々（☆：英語を単語だけ話せる、★：それなりに英語を話せる）

★ブンさん…リーダー格

ルウング チャイさん…日本に来たがっている

★プヤイ チャチャーイさん…トップの人？身なりがキレイ。

☆ピーー ヴィロウ (wirot) さん…運転手兼ガイド

パア マーリィさん…ご飯を作っているおばちゃん。可愛い

アートイ チャンさん…通称アートイ。ご飯を作っているおばちゃん (帽子は青)。集会所の近くに住んでいる